

海、里、山の豊かな資源を活かした「丹後地域観光圏」の形成

～ゆるり ぐるり ほっこり 丹後の創出へ～

丹後広域観光キャンペーン協議会
(事務局：京都府丹後広域振興局農林商工部
商工労働観光室 室長 梅田哲也)

丹後地域（舞鶴市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）は、京都府の最北端に位置し、日本海に面するとともに、西は兵庫県豊岡市、南は福知山市、綾部市、東は福井県高浜町に接した地域である。断層海岸やリアス式海岸に対する白砂のロングビーチなど変化に富む海岸線や、内陸部の丹後半島から大江山にかけての自然景観などは、山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園、若狭湾国定公園に指定されており、日本三景「天橋立」をはじめ、鳴き砂の名勝「琴引浜」など豊かな自然に恵まれている。建造物等についても、重要伝統的建造物群保存地区の「伊根浦舟屋群」や丹後ちりめん隆盛時の町並の名残がある「ちりめん街道」、重要文化財の旧海軍施設「舞鶴赤れんが倉庫群」などがあり歴史・文化に触れることができる地域である。また、幻の「間人（たいざ）ガニ」で有名な松葉ガニや「寒ブリ」、「丹後トリ貝」、「岩ガキ」などの新鮮な海の幸に恵まれるとともに、20を超える温泉が湧出する関西でも有数の温泉地でもある。

こうした様々な資源を活かした魅力づくりに、本協議会や府・市町、観光関係団体等が連携して取り組んできており、先般、本地域の特性や課題を踏まえた観光圏整備実施計画を作成し、「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」に基づく認定を受けた。

本稿では、本計画によって予定している取組内容のうち、交通移動の利便性向上事業について記載するものである。

※5ページに写真を掲載しております。是非、丹後地域にお越しください。

【丹後の観光力を高める】

◆「ふるさと力」

◇自然、食などを通じて生活体感観光にこだわった四季型・滞在型の観光地

◆「誘客力」

◇誘客ターゲットの明確化、交通の利便性の向上による周遊性の確保

◆「地域力」

◇地域産業や住民と一体となった食のブランド化、観光人材の育成



「丹後地域観光圏」の形成

—うみ・さと・やまの癒しと健康のふるさと観光—

美しい海、里、山の自然を活かした「どこにもない私だけのふるさと 丹後」
恵まれた食、温泉などを活かした「身も心も癒せるふるさと 丹後」
観光客を暖かく迎える、どこか懐かしい「やすらぎのふるさと 丹後」

○ 「200円バスの運行による周遊性の確保と滞在の促進」

丹後地域の観光振興にとって、観光地への交通手段の確保が課題であり、「丹後に鉄道で来られた観光客が駅に降りた途端に呆然としてしまう」ということがよく聞かれるように、地域内交通の問題点を如実に表している。このような状況を少しでも改善するため、平成17年11月に行政、公共交通事業者、観光関係者等の関係機関により「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」が設立され、鉄道とバスの接続改善や利用者の増加に向けた取組が進められてきている。低額料金にした場合の利用者の増加に伴う収入と財政負担の試算等を行うとともに、便数等利用者側に立った使いたくなる公共交通に向けた改善を図る中で、平成18年10月から、京丹後市内では、丹後海陸交通(株)との協働運行により上限200円バスの実証運行が行われている。リアス式海岸の絶景や島、岬など美しい海岸線が堪能できる路線もあり、「路線バスで行く絶景マリンビューの旅」として好評で、満足を約束する路線バスの旅として観光客の利用も多くなってきている。

今後、これまでの実証運行の状況を踏まえ、観光地への立ち寄り等による利便性や地域内の周遊性を高めることにより、滞在型観光の推進を図ることとしている。



○ 「丹後まるごと周遊切符」「体験メニューとセットになった企画商品の開発・販売」

丹後地域の公共交通網である北近畿タンゴ鉄道や路線バスと、民間交通事業者の船、ケーブル等の各社がバラバラに行っていた乗り放題サービスをネットワーク化し、自由に乗り継ぎと乗降が出来、周遊できるパスポート「天橋立まるごとフリーパス」が平成20年10月から販売されている。今後、天橋立地域だけでなく、年度毎に丹後地域全体へエリアを拡大し、マイカー利用の手控えや環境に配慮した丹後地域のエコツーリズムの推進に向けた取組を検討している。

また、健康や癒し、食、自然、歴史など地域密着型、交流を伴う体験交流型の「ほんまもん体験プログラム」の開発やブラッシュアップを、本協議会等で平成20年度に取り組んでおり、交通費とこれらを盛り込んだ宿泊観光商品の開発・販売も検討し、滞在型観光につなげていくこととしている。

「天橋立まるごとフリーパス」



- ・1枚のきっぷで、KTR線全区間及び丹後海陸交通（天橋立エリア）の路線バス、観光船、ケーブル・リフト、登山バスが利用できる。
- ・KTR線内は、普通列車・快速列車及び特急列車の普通車自由席が利用できる。
- ・有効期間は、発行日から3箇月で、この有効期間内の1日限り有効。
- ・ご利用当日は、何度でも乗り降り可能。
- ・この企画乗車券を協力店で呈示すると、割引などの特典が受けられる。
- ・料金3,000円（こども1,500円）

○ 「海上タクシー」「漁船クルージング」によるブルーツーリズムの推進

伊根浦の舟屋群の町並みが平成17年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されて以来、観光客の誘致に向けてPR等情報発信を行ってきているが、地区内の道路幅が狭く車の離合も困難で、また駐車場もないことが常に課題として取り上げられていた。町内の主要な地点を結ぶバスは運行されているが、運行時間帯等は観光客が利用できるような状況になく極めて不便な状況であった。様々な方法を検討したが適当な解決策はなく、船を活用して伊根湾を移動する方法が最も適当と判断し、漁業者が漁船を利用した不定期航路の申請を行い「海上タクシー」を運航している。伊根湾内には民間交通事業者の遊覧船が運航しているが、漁業者自らが海側からの町並みの説明と案内を行うなど、より身近に伊根の歴史や文化に触れることができ、また希望した場所に漁船を着岸、下船が可能な内容となっており、新たな伊根の魅力の一つとなってきた。約1年前に1隻が実証運行を開始し、その後2隻が実施、現在はさらに1隻が開業に向けて準備を行っている。

また、若狭湾国定公園の壮大な自然を、漁業者が漁船を操縦、案内しながらクルージングする「漁船クルージング」も実証運航されている。下船後には、すぐ前に海が広がる荷捌き所で、漁港ならではのとれたての魚介類等地元食材にこだわった「漁港めし」も食べられる内容となっている。

今後、漁業体験などとセットにした企画商品の開発等魅力的なブルーツーリズムとして検討することとしている。



海上タクシー



漁船クルージング



《観光圏及び滞在促進地区図》





～“幻”と謳われる極上のカニ～

間人^{たいざ}ガニは、小型船で夜明け前に出漁し、方に帰港する日帰り漁で、鮮度の良さは抜群です。肉厚でとろりととろけそうなほどの食感、その味の虜になった食通が多く訪れるが、水揚げされる量が少ないことから“幻のカニ”とも言われている。



～天上へのゆき橋～

天橋立のビュースポット、三大観の一つである傘松公園から天橋立を「股のぞき」で眺めて見ると空と海が逆さになり天に架かる浮き橋のように眺望できます。幻雪の天橋立もまた絶景です。



～日本の夕日 100選～

紺碧の海に白砂青松の浜が続く夕日ヶ浦。そのすべてを赤く美しく染め上げ、ゆっくりと夕日が水平線に沈んでいく風景は名前にふさわしく圧巻です。一見の価値があります。



～日本でいちばん海に近い暮らしがここにはあります～

1階は船着場で2階が居住用となっている地形をアイデアで補った伝統建築。伊根湾の5kmにも及ぶ周囲に約230軒の舟屋が建ち並びます。